

## 施策点検シート

**基本政策Ⅰ 生き活きとした愛顔あふれる「えひめ」づくり**  
**【産業】 次代を担う活力ある産業を“創る”**

政策名	施策	① 主な取組み等 ※下線・ゴシック→豪雨復興関係 ※下線→新たな取組み・拡充	豪雨復興 関係	新たな取 組み・拡 充	② 成果指標の状況		③ 県民ニーズ調査（順位）			
					指標名（※印はターゲット指標）	達成状況	重要度	満足度	優先度	
政策① 活力ある産業づくり	施策1 地域に根ざした産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豪雨災害で被災した中小企業、商店街の復興支援のため、被災3市（宇和島・大洲・西予）に現地オフィスを開設し、グループ補助金の申請等を促進</li> <li>・H30年度より「事業承継ネットワーク事務局」を設置し、中小企業の事業承継を包括的に支援</li> <li>・H27年度より「プロフェッショナル人材戦略拠点」を設置し、中小企業の人材獲得を支援</li> </ul>	○		県内総生産額（農林水産業を除く）	○	3位/55	4位/55	4位/55	
					名目賃金指数（平成22年を100とする）（注1）	☆				
					従業者1人当たりの付加価値額	○				
政策② 産業を担う人づくり	施策2 企業誘致・留置の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H31.4（株）ベネフィット・ワン（本社：東京都）が久万高原町へサテライトオフィスを設置（30年1月に愛南町、同年10月に八幡浜市に設置済）</li> <li>・H28年度にデータベース化した工業用地等の物件情報を分かりやすく提供するため、県ホームページを全面リニューアルし、情報発信力を強化</li> </ul>		○	企業（工場）立地件数（人口10万人当たり）	▲	8位/55	33位/55	11位/55	
					※企業立地に伴い雇員が確保された人数	○				
					企業立地に伴う投資額	○				
	施策3 新産業の創出と産業構造の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内経済を牽引する成長産業を創出するため、高機能素材、ヘルスケア、機能性表示食品、AI・IoT等の技術開発を支援</li> <li>・産業技術センターの機能強化のための移転建替（R元.9オープン）</li> <li>・本県が抱える地域課題を地域資源で解決するビジネスプランを全国より募集し、地元企業協力のもと、具体化に向けて支援</li> <li>・規模を拡大した新たな「中小企業応援ファンド」の造成</li> </ul>		○	(公財)えひめ産業振興財団「ビジネス・スタートアップ」の創業支援による開業数	☆	18位/55	49位/55	24位/55	
				産学官連携や農商工連携により事業化された件数	○					
				試験研究で得られた技術のうち県内企業に技術移転された件数	○					
	施策4 若年者の就職支援と産業人材の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国初の官民連携による移住・求人総合情報サイト「あのこの愛媛」（H29.10開設）を活用した県内企業と若年者等求職者のマッチング支援</li> <li>・県内定着やU・I・Jターン就職を促進するため、愛媛県と登録企業とで出資した基金により、大学生等が卒業後、登録した県内の企業に就職した場合に、奨学金の返還を支援する制度を創設（H30年度～）</li> <li>・ジョブカフェ愛workを核とした若年者向けの就職相談、県外学生の県内企業インターンシップ促進など、地元就職を支援</li> <li>・県立産業技術専門学校における職業訓練の実施等</li> <li>・職業学科等を設置する県立学校等を対象に、企業等と連携し、工業、農林水産業分野における地域のスペシャリストを育成</li> <li>・中学生等を対象とした工事現場見学等を行うイベントの開催や、若手技術者の資格取得に係る経費支援など、地域を支える建設産業の担い手確保・育成を推進</li> </ul>		○	県内高校新規卒業者の就職決定率（全体）	☆	1位/55	19位/55	1位/55	
						県内高校新規卒業者の就職決定率（県内就職）				▲
						※県内大学新規卒業者の就職決定率（全体）				☆
						※県内大学新規卒業者の就職決定率（県内就職）				▲
						高等技術専門学校における就職率				☆
						県内高校工業科生徒数の技能検定3級合格者率				○
	施策5 多様な人材が活躍できる環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R元年度から「えひめ子育て応援企業認証制度」を仕事と介護等の両立支援の認証基準を追加した「えひめ仕事と家庭の両立応援企業認証制度」にリニューアル</li> <li>・産学官によるAI・IoT推進コンソーシアムを核として、県内企業の事業効率化や生産性向上のためのAI・IoT導入を支援</li> <li>・H30年度に労働局と合同で働き方改革のワンストップ支援拠点「働ナビえひめ」を開設</li> <li>・H29.1の知事宣言を機に愛媛県版イクボス「ひめボス」推進（宣言事業所R元.6.30現在752事業所）</li> <li>・専任のマッチングサポーター設置による障がい者の受入企業の開拓等</li> <li>・障がいのある学生向けの合同就職説明会の開催（H29年度～）</li> </ul>		○	育児休業取得率（男性）	○	7位/55	16位/55	12位/55	
						育児休業取得率（女性）				☆
						えひめ子育て応援企業の認証件数				☆
						えひめ子育て応援企業の上位認証件数				☆
						従業者1人当たりの付加価値額【再掲】				○
						県の完全失業率（年平均）				☆
						県の有効求人倍率				☆
						民間企業における障がい者雇用率				☆

基本政策 I 生き活きとした愛顔あふれる「えひめ」づくり  
 【産業】 次代を担う活力ある産業を“創る”

政策名	施策	①主な取組み等 ※下線・ゴシック→豪雨復興関係 ※下線→新たな取組み・拡充	豪雨復興 関係	新たな取 組み・拡 充	② 成果指標の状況		③県民ニーズ調査 (順位)					
					指標名 (※印はターゲット指標)	達成状況	重要度	満足度	優先度			
政策③ 農林水 産業の 振興	施策6 力強い農林水 産業を支える 担い手の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豪雨災害被災農家の経営再建に向けて行う早期復旧、新品種・新技術導入の取組みを支援</li> <li>・都市圏の女性を対象に本県農林水産業の魅力を発信し、若手女性の一次産業就業を促進</li> <li>・農林業分野における外国人材受入に向けたモデル事業を実施</li> <li>・新規就農者への研修や、機械購入等への支援</li> <li>・「えひめ次世代ファーマーサポート事業」により、JA等による新規就農者受入体制を整備 (H29～)</li> <li>・「愛媛で就業！農林水産まるかじり就業支援サイト」を開設し、えひめの農林水産人(がんばっている生産者)や就業のための支援制度の紹介、全国初となる就農希望者向け経営シミュレーションを掲載 (H29.4～)</li> </ul>	○	○	新規農業就業者数	○	11位/55	43位/55	16位/55			
					認定農業者数(経営改善計画を市町長が認定した農業者数)	▲						
					新規林業就業者数	▲						
				漁業就業者数	☆							
				農業産出額	☆							
				県内の木材(加工前の丸太の状態)生産量	○							
				漁業生産額	○							
	施策7 攻めの農林水 産業を展開す るための基盤 整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西日本豪雨で被災した樹園地について、原形、改良、再編の3つの手法を駆使した早期復旧・復興を促進</li> <li>・農業者の先進的技術導入を支援</li> <li>・市町等が行うかんがい排水事業や農道整備事業、魚礁設置事業への補助</li> <li>・計画的な森林整備及び木材利用を進めるため基幹となる作業道を整備</li> <li>・防護柵等の資材導入及び有害鳥獣の捕獲、獣肉加工品の開発、専用サイトの運営など、鳥獣害対策を総合的に実施</li> </ul>	○	○	認定農業者等への農地利用集積率	○	33位/55	48位/55	30位/55			
				水田・畑のほ場整備面積	○							
				効率的な森林整備に向けた森林の集約化・団地化面積	○							
				漁場整備面積	○							
				野生鳥獣による農作物被害額	▲							
	施策8 選ばれる産地 を目指した技 術開発の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R元年度から生産販売を開始する本県オリジナル良食味米「ひめの凜」の生産振興及び早期ブランド化の推進</li> <li>・H31.4(かんきつ)の新品種「紅プリンセス」の品種・商標登録出願(販売開始はR7～を予定)</li> <li>・第2期期間中に市場投入された「あかね和牛」、「伊予の媛貴海(養殖魚のスマ)」、「クイーンズブラッシュ(かんきつ)」などの愛媛独自の高品質ブランドの生産強化を推進</li> </ul>		○	※県農林水産研究所が開発した新品種・新技術数	☆	42位/55	49位/55	30位/55			
						新品種の栽培方法などの技術マニュアルの作成率				☆		
政策④ 愛媛が 選ばれるプ ロモ ーション 戦略と 営業展 開	施策9 愛媛産品のブ ランド力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「愛」あるブランド産品を中心とする県産農林水産物の販路拡大を図るため、国内外でのトップセールスや量販店等での愛媛フェアを実施</li> <li>・東京オリ・パラの事前合宿やG20等の国際会議の来県者に旬の農林水産物を提供して知名度向上を推進</li> </ul>		○	※「愛」あるブランド産品の年間販売額の伸び率(対前年度比)	○	5位/55	1位/55	9位/55			
		施策10 営業力の強化 と市場拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30年度の成約額は目標額120億円を大きく上回る138.8億円を達成</li> <li>・「すご味」「すごもの」Webサイトへのアクセス情報分析や、サイトの機能強化など、ITを活用した営業活動の推進により、リアルとデジタルの両輪での営業活動を強化</li> <li>・H27.4より県の営業本部を「すご味」「すごモノ」「すご技」の3グループに再編し庁内の体制を強化</li> <li>・国内外におけるオール愛媛体制での営業体制の確立</li> </ul>		○	※県関与成約額	☆	51位/55	22位/55	53位/55		
	施策11 戦略的なプロ モーション活 動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豪雨災害からの復興に向けた機運醸成を図るため、統一キャッチコピー「がんばるけん えひめけん」を使った復興支援シンボルマーク作成や、復興支援動画公開</li> <li>・H31.4から、「まじめ」を統一コンセプトとした新たなPR戦略を展開</li> <li>・アドバイザーの設置、基本戦略の策定・共有(人材育成)、インバウンドを切り口とした活用モデルの構築及び他施策への横展開、取得データの蓄積・リスト化による情報発信の高度化などデジタルマーケティングの導入促進</li> <li>・みきちゃん・ダークみきちゃん・こみきちゃん(H30.10誕生)を活用したイメージアップの推進</li> </ul>	○	○	報道機関に対する記者発表件数	▲	39位/55	30位/55	49位/55			
						首都圏・近畿圏パブリシティ活動により県の情報がメディア等に取り上げられた件数				☆		
						県HPへの訪問者数				○		

**基本政策 I 活き活きとした愛顔あふれる「えひめ」づくり**  
**【産業】 次代を担う活力ある産業を“創る”**

政策名	施策	① 主な取組み等 ※下線・ゴシック→豪雨復興関係 ※下線→新たな取組み・拡充	豪雨復興関係	新たな取組み・拡充	② 成果指標の状況		③ 県民ニーズ調査 (順位)		
					指標名 (※印はターゲット指標)	達成状況	重要度	満足度	優先度
政策⑤ 観光・交流の拡大	施策12 魅力ある観光地づくりと国際観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>「えひめいよしの南予博2016」の開催等で蓄積されたノウハウを活用した豪雨災害からの復興に向けた誘客促進、プロモーション強化の推進</li> <li>台湾チャーター便を利用した観光交流の促進などにより、R元.7～松山～台北線の定期便就航</li> <li>R元.5に大型クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」が松山港初寄港</li> <li>H31.4～R元.11まで東予東部地域では初となる広域振興イベント「えひめさんさん物語」を開催</li> <li>スマホアプリやクレジットカード利用データを活用し、外国人観光客の県内周遊や消費傾向を分析</li> <li>上海線の搭乗率増加及び外国人利用者が5年連続で過去最高更新</li> <li>H28.9より運休していたソウル線について、H29.11から運航再開し、搭乗率が90%前後で好調に推移し、H30.7～8,10末～3まで週5便に増便</li> <li>H29.6に愛媛DMOを設立し、民間と一体となった営業・誘客活動を実施</li> </ul>	○	○	※観光客数	○	20位/55	3位/55	18位/55
	<ul style="list-style-type: none"> <li>※観光消費額</li> <li>○</li> <li>外国人延泊泊者数</li> <li>○</li> </ul>								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人登録者数 (人口千人当たり)</li> <li>☆</li> <li>海外渡航者数 (人口千人当たり)</li> <li>☆</li> <li>県・市町の国際交流協定締結数</li> <li>☆</li> <li>若年層 (29歳以下) 新規旅券取得件数の増加分</li> <li>☆</li> </ul>								
政策⑥ 交通ネットワークの整備	施策13 国際交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>R元.9にG20愛媛・松山労働雇用大臣会合、R元.10に日中韓3か国地方政府交流会議開催</li> <li>R元.5中国大連市及び遼寧省と「友好協力関係」協定を締結し、介護人材の育成・交流をはじめ環境や観光、スポーツなど幅広い分野で交流を推進</li> <li>外国人材の受入拡大を受け、県国際交流センターの相談運営体制を拡充するなど、在県外国人に対する相談、情報提供体制を強化</li> <li>H31.1インドネシア南スラウェシ州と人材強化を含む幅広い分野での友好関係強化を内容とする趣意確認書を調印</li> <li>松山空港国際線を利用して初めて海外旅行をする若年層に対して旅行商品を割引することで、若年層の新規旅券取得を促進</li> </ul>		○	外国人登録者数 (人口千人当たり)	☆	50位/55	22位/55	55位/55
	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外渡航者数 (人口千人当たり)</li> <li>☆</li> <li>県・市町の国際交流協定締結数</li> <li>☆</li> <li>若年層 (29歳以下) 新規旅券取得件数の増加分</li> <li>☆</li> </ul>								
政策⑥ 交通ネットワークの整備	施策14 自転車新文化の拡大・深化	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車活用を総合的かつ計画的に推進するため、「愛媛県自転車新文化推進計画」策定 (H31.3)</li> <li>E-BIKE (スポーツ型電動アシスト付自転車) の普及促進及び環境整備</li> <li>「サイクリング＝愛媛」を国内外へアピールする動画制作やポータルサイト構築により効果的な情報発信及び視聴者の分析検証を実施</li> <li>サイクリングアイランド四国の実現に向け、4県、四国ツーリズム創造機構及び四国地方整備局等で構成する「サイクリングアイランド四国推進協議会」の設立、運営 (H29.10～)</li> <li>名実ともにオール愛媛で自転車新文化を推進するための官民連携組織「愛媛県自転車新文化推進協会」の設立、運営 (H28.4～)</li> <li>防護柵の整備などマルゴト自転車道 (H28年度末整備完了) のブラッシュアップや、路面標示の設置など自転車通行空間の整備</li> </ul>		○	しまなみ海道 (今治市) におけるレンタサイクル利用者数	☆	42位/55	2位/55	30位/55
	<ul style="list-style-type: none"> <li>※愛媛マルゴト自転車道サイトの会員登録者数</li> <li>○</li> <li>※愛媛マルゴト自転車道コース (ブルーライン) の整備率</li> <li>☆</li> </ul>								
政策⑥ 交通ネットワークの整備	施策15 広域・高速交通ネットワークの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>松山空港の利用者数は平成29年度に300万人を突破し、30年度も312万4千人と過去最高を更新。このような利用状況を踏まえ、受入環境強化を推進</li> <li>三島川之江港に新たにガントリークレーンを整備 (R元～2) するなど港湾機能を強化</li> <li>新幹線導入等鉄道高速化に向けた国土交通省への要望活動や普及啓発等一層の機運醸成</li> <li>地域高規格道路 (大洲・八幡浜自動車道、松山外環状道路等) の整備促進</li> </ul>		○	※高規格幹線道路等の整備率	○	14位/55	32位/55	14位/55
	<ul style="list-style-type: none"> <li>愛媛発着の旅客流動数</li> <li>▲</li> <li>愛媛発着の貨物流動数</li> <li>▲</li> <li>※松山空港の年間利用者数</li> <li>☆</li> </ul>								
政策⑥ 交通ネットワークの整備	施策16 地域を結ぶ交通体系の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>豪雨災害で被災した道路について、路線の緊急性、重要性を踏まえ、R2年度末までの完了を目指し、市町と連携した復旧工事を実施</li> <li>平成30年3月に策定した県地域公共交通網形成計画に基づき、南予地域のバス路線の再編等を推進</li> <li>四国4県や国等の関係機関とともに、「四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会Ⅱ」に参画し、四国の鉄道網を将来的にどのように維持していくか検討</li> <li>運輸業の人材確保や理解促進のため、現地説明会や人材獲得研修会等を開催</li> </ul>	○	○	拠点形成を支援するための道路改良率	○	12位/55	33位/55	5位/55
	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型車等すれちがい困難解消率</li> <li>○</li> <li>過疎・離島地域の地域交通の路線数</li> <li>☆</li> <li>県内の主要公共交通機関の年間輸送人員</li> <li>▲</li> </ul>								

注1) 平成29・30年名目賃金指数については、平成29年から平成27年基準 (平成27年を100とする指数) に改訂されているため、平成27年基準を基に、平成22年が100となるように計算した参考値

施策点検シート

**基本政策Ⅱ やすらぎの愛顔あふれる「えひめ」づくり**  
**【暮らし】 快適で安全・安心の暮らしを“紡ぐ”**

政策	施策	①主な取組み等 ※下線・ゴシック→豪雨復興関係 ※下線→新たな取組み・拡充	豪雨復興関係	新たな取組み・拡充	② 成果指標の状況		③県民ニーズ調査（順位）		
					指標名（※印はターゲット指標）	達成状況	重要度	満足度	優先度
政策① 参画と協働による地域社会づくり	施策17 未来につながる協働のきずなづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豪雨災害で重要性が認識された「中間支援組織（行政や地域の間に立って様々な活動を支援する組織）」を核に、大規模災害にも対応できる、平時からの全県的な地域協働ネットワーク構築を図るとともに、組織の担い手育成等を支援</li> <li>・ボランティア参加により醸成された国体レガシーを生かすため、社会貢献活動全般で活躍できるボランティアリーダーを養成</li> <li>・愛媛西伊予・大分中部地域間交流促進協議会を設立（H28.6）し、両地域間の交流を促進</li> </ul>	○		※NPO法人数（認定NPO法人を含む）	○	42位/55	52位/55	42位/55
				※うち認定NPO法人及び特例認定NPO法人	☆				
				愛媛ボランティアネット会員登録数	☆				
	施策18 男女共同参画社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デートDV未然防止のため、若年層が制作に携わった映像資料を作成し、講座等で活用</li> <li>・性暴力被害者に必要な支援を行うワンストップ支援センターの運営（H30.9.1～相談開始）</li> </ul>		○	県審議会等における女性委員の割合	○	33位/55	28位/55	38位/55
				男女の地位が平等と感じる人の割合	○				
				仕事と生活の調和の実現が図られていると感じる人の割合	▲				
	施策19 人権が尊重される社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛媛FC、愛媛マダリンパイレーツ及び愛媛オレンジバイキングスと連携した人権啓発活動を実施</li> <li>・人権・同和教育の研究会等の開催及び幼稚園、保育所・学校・市町への訪問指導等を実施</li> </ul>		○	人権問題に関する研修・講座等の受講者数	▲	18位/55	22位/55	28位/55
				人権・同和教育研究大会への参加者数	○				
				人権問題に関する指導者研修等の受講者数	▲				
政策② 持続可能な活力ある地域づくり	施策20 地域を支える人材づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルマーケティングの手法を活用して移住潜在層への効果的な情報発信を行い、新たな移住希望者を開拓（R元年度～）</li> <li>・女性の移住希望者をターゲットとした「愛顔のひめターン」プロモーションの実施（H30年度～）</li> <li>・移住・求人総合情報サイト「あのこの愛媛」の開設（H29.10～）</li> <li>・県外移住希望者を対象とした6泊7日の地域滞在型ツアーの実施（H29年度～）</li> <li>・移住者の住まいとなる住宅改修等に要する経費の助成（H28年度～）</li> <li>・東京、愛媛に専任の移住相談員（コンシェルジュ）設置（東京：H27.8～、愛媛：H28.4～）</li> <li>・東京、大阪で県単独の移住フェア開催（H27年度～）</li> </ul>		○	移住窓口相談件数	☆	4位/55	11位/55	23位/55
					※県外からの移住者数	☆			
	施策21 地域集落の機能強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町との地域おこし協力隊合同募集説明会（東京・大阪）の開催等による地域おこし協力隊の導入・定着促進（隊員数は年々増加（H31.4現在 18市町101名））</li> <li>・小学校区程度の地域において、人口分析を踏まえた目標を設定し、人口増に向けた取組みを実施するモデル集落の構築支援（H30年度～）</li> <li>・複数集落による地域づくり協働体の構築支援</li> </ul>		○	地域づくり協働体の構築に向けた新規計画策定箇所数	○	27位/55	43位/55	49位/55
					地域づくりリーダー育成数【再掲】	○			

基本政策Ⅱ  
【暮らし】

やすらぎの愛顔あふれる「えひめ」づくり  
快適で安全・安心の暮らしを“紡ぐ”

政策	施策	①主な取組み等 ※下線・ゴシック→豪雨復興関係 ※下線→新たな取組み・拡充	豪雨復興 関係	新たな取 組み・拡 充	② 成果指標の状況		③県民ニーズ調査（順位）		
					指標名（※印はターゲット指標）	達成状況	重要度	満足度	優先度
政策③ えひめ 社会づく り	施策22 高齢者がいき いきと暮らせ る健康長寿え ひめの実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4に本県で初開催される「ねりんピック」の準備を進めるため、市町や関係団体の意見を踏まえた基本構想の取りまとめ等を実施</li> <li>・介護事業者に対し、介護ロボットやAI・ICT技術導入及び身体的負担の少ない介護技術導入への支援を行い、介護分野のイメージアップと業務効率化による人材確保を促進</li> <li>・高齢者や介護者等へ介護サービス制度の情報を提供するためのアプリ開発（H29.3配信開始）</li> <li>・サイクリングを通じた高齢者の健康づくり、生きがいづくり等を推進</li> </ul>		○	重度要介護（要介護4・5）高齢者の割合 ☆ ※要介護認定を受けていない人の割合 ☆ 認知症サポーター数 ☆ ねりんピック参加活動人数 ○		17位/55	26位/55	10位/55
	施策23 障がい者が安 心して暮らせ る共生社会づ くり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障がい児の適応力向上のための指導者養成研修実施など支援体制を充実</li> <li>・県庁内に障がい者の民間企業等への就労を支援する「えひめチャレンジオフィス」を設置し、チャレンジ職員（非常勤職員）として雇用</li> <li>・パラスポーツと生涯スポーツの2部門併設イベント開催（R2.3）や、障がいの有無に関わらず楽しめる「eスポーツ」大会（R元.6 茨城国体の本県予選会）への支援</li> <li>・障がい者の芸術文化活動の支援拠点「障がい者アートサポートセンター」の設置（R元.6～）や障がい者芸術文化祭の開催（R元.10.12）</li> <li>・障がい者差別の解消や虐待防止を推進するため、研修・会議の開催、広域専門相談員を設置し、相談や市町助言等を実施（H28.4「愛媛県障がい者差別解消条例」施行）</li> </ul>		○	※施設入所から地域へ生活の場を移した人数（率） ○ 計画相談支援利用率 ☆ 民間企業における障がい者雇用率【再掲】 ☆		35位/55	39位/55	30位/55
	施策24 地域福祉を支 える環境づく り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豪雨災害被災者への巡回訪問や相談支援などを実施</li> <li>・外国人介護人材の受入体制を支援するため、「外国人介護人材支援センター」の設置や、受入施設における外国人介護福祉士候補者の日本語学習等を支援</li> <li>・少子高齢化の進展する南予地域において、地域住民が「食」を通して交流する拠点となる模擬交流食堂を開設</li> <li>・福祉、介護人材確保のため、仕事の魅力発信や、職場の垣根を越えた交流を促進し、職場定着を図るための福祉・介護関係事業所合同入職式等を実施</li> </ul>	○	○	社会福祉施設等従事者数 ☆ 民生児童委員1人当たりの平均訪問回数 ▲		27位/55	16位/55	28位/55
政策④ 健康づく り と医療体 制の充 実	施策25 生涯を通じた 心と体の健康 づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災地での相談窓口設置や、心のケアチーム派遣など豪雨災害被災者の中長期的な心のケアを実施</li> <li>・自殺相談の電話窓口を24時間対応とし、相談体制を向上</li> <li>・肝炎ウイルス検査受検の重要性を周知啓発</li> <li>・ビッグデータを活用し地域の特性に応じた健康づくりや疾病予防を推進</li> </ul>	○	○	75歳未満のがん死亡者数（人口10万人当たり）（男性） ○ 75歳未満のがん死亡者数（人口10万人当たり）（女性） ▲ ※65歳未満で死亡する人の割合（男性） ☆ ※65歳未満で死亡する人の割合（女性） ☆ 自殺死亡率（人口10万人当たり） ☆		39位/55	19位/55	38位/55
	施策26 安全・安心で 質の高い医療 提供体制の充 実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立新居浜病院の建替整備や県立中央病院の手術室増設により地域の拠点病院の機能強化</li> <li>・団塊の世代が後期高齢者となる2025年を見据え、将来あるべき医療提供体制の姿を描いた「地域医療構想」（H28.3策定）を統合した「第7次愛媛県地域保健医療計画」の策定（H30.3）及び推進</li> </ul>		○	※医療施設従事医師数（人口10万人当たり） ☆ 県の医師確保奨学金貸与生の人数 ☆ 県内の医薬分業率 ○		9位/55	10位/55	14位/55

**基本政策Ⅱ やすらぎの愛顔あふれる「えひめ」づくり**  
**【暮らし】 快適で安全・安心の暮らしを“紡ぐ”**

政策	施策	① 主な取組み等 ※下線・ゴシック→豪雨復興関係 ※下線→新たな取組み・拡充	豪雨復興関係	新たな取組み・拡充	② 成果指標の状況		③ 県民ニーズ調査（順位）		
					指標名（※印はターゲット指標）	達成状況	重要度	満足度	優先度
政策④ 健康づくりと医療体制の充実	施策27 救急医療体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に迅速に業務復旧ができるように、県内医療機関のBCP策定促進を図るため、病院対象の研修を実施</li> <li>・ドクターヘリ出動件数（H29.2～R元.6）665回</li> <li>・救急救命士の業務拡大に伴って追加講習を実施</li> <li>・ドクターヘリの導入（H29.2運航開始）及び安定的運航に向けた人材育成</li> </ul>		○	救急患者の管外搬送率	▲	14位/55	19位/55	7位/55
					救急隊の救急救命士運用率	☆			
政策⑤ 快適で魅力あるまちづくり	施策28 快適な暮らし空間の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30に開園30周年を迎えた県立とべ動物園において、グランピングなど話題性のあるイベントや、全園へのえひめFree Wi-Fi整備、壁面にアクリル板を用いて、水中遊泳が見られるアシカ舎の改修、動物園本来の価値を高める展示動物等の継続的な購入等を実施</li> <li>・JR松山駅付近連続立体交差事業は、新車両基地・貨物駅区間について行き違い線区間及び北伊予駅改良区間と併せ、R元年度末に3区間同時に供用予定であるとともに、高架区間についても、R5年度の高架切替に向け全面的に工事を進めるなど順調に進捗</li> <li>・景観形成アドバイザーの派遣等による市町への支援に加え、景観に対する意識啓発のため、県主催の「えひめ景観シンポジウム」を開催</li> <li>・市町が行う木造住宅耐震化のための診断技術者派遣、耐震改修、段階的耐震改修及び耐震シェルター設置補助の経費を一部負担</li> </ul>		○	街路整備密度	○	24位/55	14位/55	24位/55
					※景観計画策定数	○			
政策⑤ 快適で魅力あるまちづくり	施策29 ICT環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料の公衆無線LAN「えひめFreeWi-Fi」について、貸切バスへの設置支援、多言語ポータルサイトの拡充などインバウンド対策強化</li> <li>・5G（第5世代移動通信システム）を活用した県民生活向上や地域経済の活性化策など施策の検討を全庁的に行う「5G活用検討プロジェクトチーム」を県庁内に立ち上げ</li> <li>・定型的業務をソフトウェアロボットの活用により自動化するRPAを導入し、税務関係業務で事務処理効率化の実証実験を実施するとともに、効果が見込まれる他業務への導入を検討</li> <li>・県税のキャッシュレス納付（クレジットカード納付及びスマホ決済アプリ納付）の導入・拡大</li> </ul>		○	※えひめFreeWi-Fiの設置箇所数	☆	51位/55	54位/55	30位/55
					法人二税の電子申告率	☆			
政策⑥ 安全・安心な暮らしづくり	施策30 消費者の安全確保と生活衛生の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs（持続可能な開発目標）の考え方も踏まえた地域や人、環境に配慮した「おもいやり消費（エシカル消費）」の普及啓発</li> <li>・鳥インフルエンザ発生時の迅速な防疫措置に必要な遺伝子検査機器を整備</li> <li>・公務員獣医師確保のため、本県への就職を考えている獣医系大学生に修学資金を貸与</li> <li>・地域見守り活動促進コーディネーターの配置等による消費者トラブルの未然防止や被害拡大防止対策強化</li> </ul>		○	県消費生活センターにおける相談解決率（解決には助言、情報提供を含む）	○	45位/55	39位/55	44位/55
					家畜の監視伝染病発生件数	▲			
政策⑥ 安全・安心な暮らしづくり	施策31 水資源の確保と節水型社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西条と松山両市の水問題解決に向け、広域調整を図る立場から行った「6つの提案」（H27.8）について、松山市からは実行していく旨回答があった（H29.9）が、西条市は応じることが困難との結論を示した（H31.3）こと等から、県は広域調整の立場から降り、今後は水問題の解決に向けて、それぞれの市で取り組むことになった（なお、異常渇水時の応援協定の締結に向けた両市の協議は継続）</li> <li>・広島県から今治市関前地区への県域を超えた水の供給の実施（H29.4～）</li> </ul>		○	県食品表示ウォッチャーのモニタリング結果に基づく不適正な食品表示の割合	○	35位/55	39位/55	36位/55
					食中毒の発生件数の全国での相対的位置（人口10万人当たりの発生件数、全国平均を1.0とする）	☆			
					上水道・簡易水道の断水の回数	☆			
					人工林における間伐実施面積	▲			
					老朽ため池改修数	○			

**基本政策Ⅱ やすらぎの愛顔あふれる「えひめ」づくり**  
**【暮らし】 快適で安全・安心の暮らしを“紡ぐ”**

政策	施策	①主な取組み等 ※下線・ゴシック→豪雨復興関係 ※下線→新たな取組み・拡充	豪雨復興 関係	新たな取 組み・拡 充	② 成果指標の状況		③県民ニーズ調査(順位)		
					指標名(※印はターゲット指標)	達成状況	重要度	満足度	優先度
政策⑥ 安全・安心な暮らしづくり	施策32 交通安全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度に実施した県民意識調査結果を踏まえた自転車安全利用ハンドブックの作成及びライブステージに応じた自転車交通安全教育の実施</li> <li>自転車乗車用ヘルメットの着用を働きかけ、朝の通勤・通学時間帯の県民の着用率は約70%に向上</li> <li>シェア・ザ・ロード精神の普及浸透を図るため「思いやり1.5m運動」等先駆的な自転車安全利用施策を実施</li> <li>信号機の新設・改良、横断歩道等の新設・更新等、交通の安全確保を実施</li> <li>歩道整備により、生活道路や通学路の安全対策を推進し、子どもや高齢者等の安全の確保</li> <li>「もの忘れ相談プログラム」や「簡易自動車運転シミュレータ」を導入した運転相談等により、高齢者による交通事故抑止策を推進</li> </ul>		○	交通事故死者数 ○ 交通事故死傷者数 ☆ 市街地における歩道等の整備率 ○		47位/55	49位/55	45位/55
	施策33 犯罪の起きにくい社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>H31.2「第2次愛媛県犯罪の起きにくい安全で安心なまちづくり推進計画」策定</li> <li>情報モラル教育用映像教材作成など、児童・生徒等への情報モラル教育の浸透を推進</li> <li>刑務所出所者等対象の就労支援モデル事業の実施や、「愛媛県再犯防止推進計画」の策定に向けた検討など、再犯防止対策の推進</li> <li>児童生徒の非行や犯罪被害防止のため、H27年度よりスクールサポーターを2人から4人に増員</li> <li>暴力団離脱者等への社会復帰支援、暴力団犯罪被害者への助言等を実施、暴力団の弱体化を推進</li> </ul>		○	青色防犯パトロール車両台数 ▲ 犯罪率(人口千人当たりの刑法犯認知件数) ☆ 凶悪犯罪の検挙率 ☆ 重要窃盗犯罪の検挙率 ○ 事業所CSR活動として設置した街頭防犯カメラの設置台数 ☆ 不当要求防止責任者講習の受講者数 ☆		29位/55	26位/55	26位/55
	施策34 原子力発電所の安全・防災対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数のドローンを活用した情報収集及び、臨時災害放送局による情報発信</li> <li>原子力総合防災訓練等の実施</li> <li>避難経路の確保に向けた周辺道路整備</li> <li>避難に時間を要する要配慮者等の屋内退避に係る施設の整備</li> <li>伊方発電所で発生した異常事象の迅速な連絡及び県民への情報提供</li> <li>環境放射線のモニタリング</li> </ul>		○	原子力防災訓練参加機関の訓練目的・目標の達成割合 ○ 原子力施設見学会等参加者数 ▲		14位/55	11位/55	12位/55
政策⑦ 災害に強い強靱な県土づくり	施策35 防災・危機管理体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸別受信機設置支援、災害情報システムの高度化など、豪雨災害の検証内容を先取りした防災機能強化</li> <li>防災士の数 R元.6末現在13,062人(全国2位)</li> <li>自主防災組織活動の活性化支援による地域防災力の向上</li> <li>防災情報や避難ルートを提供するスマートフォン向けアプリ「ひめシェルター」公開(H30.3～)</li> <li>自助の促進を図るため県下全域でシェイクアウト訓練の実施</li> <li>防災士養成講座の開催や、消防団員確保のための広報啓発活動を展開</li> </ul>	○	○	※防災士の数 ☆ 自主防災組織の訓練実施率 ○ 県防災メールの登録者数 ○ ※土砂災害警戒区域の調査箇所数 ○		13位/55	29位/55	6位/55
	施策36 災害から県民を守る基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>豪雨災害で甚大な被害を受けた肱川について、国と連携して策定した「肱川緊急治水対策」に基づき、堤防整備を10年前倒しのR5年度末までに集中的に実施するとともに、山鳥坂ダムの整備を促進</li> <li>被災時に下流の人家に及ぼす影響が大きいため池を対象に、これまでの全面改修に部分改良や廃止を組み合わせ、ため池の安全性向上を推進</li> <li>H30年度に新規事業採択された「東温スマートIC(仮称)」の整備促進により大規模災害対応力強化</li> <li>宇和島、松山東、久万高原警察署の耐震化を推進</li> <li>県立学校の耐震化は、H29年度末に完了</li> <li>緊急避難道路の整備、河川、港湾、海岸、砂防施設等の改修、補強など</li> <li>災害時の避難路等を閉塞する恐れのある危険な空家について、市町の取組む空き家除去に関する費用の一部負担</li> <li>H24年度以降、既定経費を削減し、特別枠「防災・減災強化枠」で重点的に予算配分し、各種防災・減災事業を実施</li> </ul>	○	○	※県立学校の耐震化率 ☆ 警察施設の耐震化率(警察署) ○ 洪水から守られる戸数 ○ ※海岸保全施設整備による防護面積 ○ 耐震強化岸壁整備率 ☆ ※緊急輸送道路の防災対策の整備率 ☆ ※土砂災害防止施設により保全される人家戸数 ○ ※社会資本の老朽化に起因する重大事故ゼロ ☆ 老朽ため池改修数【再掲】 ○		9位/55	33位/55	3位/55

施策点検シート

基本政策Ⅲ 輝く愛顔あふれる「えひめ」づくり  
【人づくり】 未来を拓く豊かで多様な『人財』を“育む”

政策	施策	①主な取組み等 ※下線・ゴシック→豪雨復興関係 ※下線→新たな取組み・拡充	豪雨復興関係	新たな取組み・拡充	② 成果指標の状況		③県民ニーズ調査（順位）		
					指標名（※印はターゲット指標）	達成状況	重要度	満足度	優先度
政策① 地域で取り組む子育て・子育て支援	施策37 安心して生み育てることができる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世帯のサポートや貧困等の問題を抱える子どもを支える事業を官民共同で実施するための県会議設置や、子どもの生活実態調査実施</li> <li>松山市の子ども（中学3年生まで）医療費完全無料化への財政的支援を実施</li> <li>とべ動物園と連携したこどもの城の魅力向上対策の強化</li> <li>えひめ結婚支援センターを核とした結婚支援</li> <li>結婚から出産、子育てまで切れ目ない支援を実施するため、子育て支援スマホアプリ、サイトを作成し、バーチャル上のワンストップ相談体制を構築</li> <li>H29年度より、県、市町及び県内紙おむつメーカーとの官民協働による第2子以降出生世帯への紙おむつ購入支援を実施</li> </ul>		○	※えひめ結婚支援センターにおけるカップル数	○	2位/55	18位/55	2位/55
					周産期死亡率（出生千対）	☆			
					地域子育て支援拠点施設の設置か所数	○			
					認定子ども園、幼稚園、保育所の利用人数	▲			
					ひとり親家庭の就業率	▲			
	施策38 子ども・若者の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災した児童生徒等が安心して学校生活を送れるように、学校の要請に応じてスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを派遣</li> <li>夏休み、冬休み後にSNS（LINE）によるいじめ相談を実施</li> <li>県内小中学校におけるスクールカウンセラー配置校増加（H27_283校→H28_308校→H29_317校→H30_329校）</li> <li>児童生徒が主体的にいじめ防止の活動に取り組むことを目的とした「いじめSTOP！愛顔の子どもフォーラム」を開催</li> </ul>	○	○	公立小・中学校（県立中等教育学校を含む）における不登校児童生徒の割合	▲	5位/55	22位/55	8位/55
					刑法犯で検挙・補導された青少年の数	☆			
政策② 未来を拓く子どもたちの育成	施策39 魅力ある教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>豪雨災害被災児童生徒等に対する学用品費等の経済的支援及び学習サポート実施</li> <li>県立学校普通教室へエアコン整備を推進</li> <li>私立学校の耐震化に係る経費の一部を支援</li> <li>県内市町において地域住民が放課後の子どもの学びや体験活動等を支援する「えひめ未来塾」、「放課後子ども教室」等の活動に取り組む、地域の教育支援体制を推進</li> </ul>	○	○	公立小・中学校における学校関係者評価の公表率	☆	38位/55	31位/55	45位/55
						地域学校安全委員会などを開催した学校の割合			
					県立高校（県立中等教育学校を含む）の自己評価における評価内容改善の実施割合	☆			
	施策40 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育てる教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>県立高校等において、ポートフォリオ的教材の導入などキャリア教育の推進と充実</li> <li>全県立学校にWi-Fi環境と電子黒板の整備を推進</li> <li>「愛媛県学力向上推進3か年計画（第2期）」策定（H29.3）</li> <li>中学生段階での望ましい勤労観や職業観の育成を図り、地域の魅力、良さを発見するため、5日間の職場体験学習（えひめジョブチャレンジU-15事業）を実施</li> <li>地域課題を解決する人材育成のため、県立高校等において、魅力ある学校づくりのプロジェクトプランの作成、発表、実践</li> <li>ホームページ上に運動することを楽しく競い合えるIT環境を整備し、子どもの運動への興味関心を高め、体力向上を推進</li> </ul>		○	児童生徒の授業の理解度（小学校）	☆	26位/55	43位/55	22位/55
					児童生徒の授業の理解度（中学校）	☆			
					インターンシップを行っている県立高校（県立中等教育学校を含む）の割合	☆			
					道徳教育を推進する上で、指導内容の重点化を図っている学校の割合	☆			
					全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の全国平均点と本県平均点との差（中2男子）	▲			
					全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の全国平均点と本県平均点との差（中2女子）	○			
					全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の全国平均点と本県平均点との差（小5男子）	▲			
					全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の全国平均点と本県平均点との差（小5女子）	○			
					えひめ子どもスポーツITスタジアム参加小学校の割合	☆			

基本政策Ⅲ 輝く愛顔あふれる「えひめ」づくり  
 【人づくり】 未来を拓く豊かで多様な『人財』を“育む”

政策	施策	①主な取組み等 ※下線・ゴシック→豪雨復興関係 ※下線→新たな取組み・拡充	豪雨復興 関係	新たな取 組み・拡 充	② 成果指標の状況		③県民ニーズ調査（順位）		
					指標名（※印はターゲット指標）	達成状況	重要度	満足度	優先度
政策② 未来を 拓く子 どもた ちの育 成	施策41 特別支援教育 の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みなら特別支援学校の教室不足に対応するため、新校舎整備</li> <li>・発達障がいを含む障がいのある児童生徒等への切れ目ない支援を図るためのツールとなる「えひめ特別支援パッケージ」の整備</li> <li>・新部門の導入や、実施方法を県検定と地区検定の制度に転換する等、特別支援学校技能検定を充実</li> </ul>		○	進学・就職希望者の希望達成度（県立特別支援学校高等部卒業生）	☆	45位/55	43位/55	47位/55
	<small>公立学校において、特別な支援が必要な幼児児童生徒のための個別的教育支援計画を作成している学校の割合</small>	○							
政策③ 生涯学 習と文 化の振 興	施策42 教職員の資 質・能力の向 上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R元.5に「愛媛県学校における働き方改革推進本部」を設置し、教職員の業務負担軽減の取組を一層推進するとともに、県立学校教職員を対象にテレワーク制度を導入（R元.7～）するなど、教職員のワーク・ライフ・バランスの実現を推進</li> <li>・モデル地域（市町単位）において、教職員の業務改善や、資質向上等の取組みについて、実証研究を実施</li> <li>・指導力不足等教員への指導改善研修の実施</li> </ul>		○	児童生徒の授業の理解度（小学校）【再掲】	☆	31位/55	37位/55	16位/55
	児童生徒の授業の理解度（中学校）【再掲】	☆							
研修を受講した教員による授業への活用度	☆								
政策④ スポー ツ立県 えひめ の推進	施策43 学び合い高め 合う生涯学習 社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合科学博物館及び歴史文化博物館において、工夫を凝らした企画展等の開催による魅力強化</li> <li>・県民の生涯学習、調査研究、課題解決等に資するための図書館資料の充実を図るとともに、県立図書館図書「遠隔地返却サービス」（開始：H27.4～）を実施</li> <li>・「ふるさと愛媛学」調査報告書等の文献のデジタル化や、データベースの検索分類を行い、県生涯学習センターHPに掲載</li> </ul>			県内公立図書館の県民1人当たりの年間貸出冊数	○	53位/55	37位/55	42位/55
	生涯学習の講師として登録している者の数	☆							
学び舎えひめ悠々大学の対象講座登録数	☆								
総合科学博物館の入館者数	○								
歴史文化博物館の入館者数	▲								
政策④ スポー ツ立県 えひめ の推進	施策44 個性豊かな愛 媛文化の創造 と継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化が進んでいる県民文化会館の大規模改修（H31.1～R2.3）</li> <li>・H31.3にイベントを開催した「愛媛国際映画祭」について、R元年度からレッドカーペットやコンペ作品等の上映会、映画関連イベント開催などフルスペックの映画祭として本格実施</li> <li>・国史跡遍路道の風雨等の被害からの保全、保護、環境整備等にガバメントクラウドファンディングを活用</li> <li>・「愛顔感動ものがたり発信事業」、「えひめ愛顔の子ども芸術祭」の継続実施</li> <li>・「四国遍路」の世界文化遺産登録に向けて、県内札所寺院等の調査、四国4県知事から文化庁長官へ早期の暫定一覧表の追加掲載を強く要請</li> </ul>		○	県民総合文化祭等への参加者数（県民文化会館、生活文化センター、萬翠荘の利用者数を含む）	○	41位/55	14位/55	30位/55
	県美術館の年間利用者数	☆							
国・県の文化財数	☆								
政策④ スポー ツ立県 えひめ の推進	施策45 スポーツを通 じた豊かで活 力ある地域づ くり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京オリンピック事前合宿やスポーツイベント等誘致に向けて、適時適切なプロモーション活動の強化</li> <li>・野球をテーマにした「愛・野球博」開催（H30～）</li> <li>・地域密着型プロスポーツ球団（愛媛FC、愛媛マンダリンパイレーツ、愛媛オレンジバイキングス）の支援及びそれらを活用した地域のにぎわい創出</li> </ul>		○	総合型地域スポーツクラブ数	○	47位/55	8位/55	36位/55
政策④ スポー ツ立県 えひめ の推進	施策46 競技スポー ツの振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本スポーツマスターズ2020の開催準備及びキックオフイベントの開催</li> <li>・国体の成果を継承した競技力向上対策の推進</li> <li>・平成30年に開催された福井国体において、天皇杯12位・皇后杯10位（「愛媛県競技力向上対策基本計画」における目標である天皇杯20位以内を達成）</li> <li>・中学、高校等の運動部活動における教員の負担軽減や、生徒の競技力向上のため、部活指導員を配置</li> </ul>		○	※国民体育大会における総合成績（天皇杯順位）	○	54位/55	7位/55	53位/55
	全国高校総体（インターハイ）入賞件数	☆							
競技人口の状況	○								
日本体育協会公認スポーツ指導者数（人口千人当たり）	○								

施策点検シート

**基本政策Ⅳ やさしい愛顔あふれる「えひめ」づくり**  
**【環境】 調和と循環により、かけがえのない環境を“守る”**

政策	施策	①主な取組み等 ※下線・ゴシック→豪雨復興関係 ※上線→新たな取組み・拡充	豪雨復興関係	新たな取組み・拡充	②成果指標の状況		③県民ニーズ調査（順位）		
					指標名（※印はターゲット指標）	達成状況	重要度	満足度	優先度
政策① 環境と調和した暮らしづくり	施策47 環境教育・学習の充実と環境保全活動の促進	・ESD環境教育推進校、SDGs推進リーダー校を指定するなど、環境教育の充実と持続可能な地域づくりを担う人材の育成			環境マスター登録者数	☆	24位/55	33位/55	47位/55
				小・中学校における環境教育年間指導計画策定率	☆				
				※環境教育・学習参加者数	▲				
				環境NPO法人数	☆				
	施策48 地球温暖化対策の推進	・気候変動による被害の軽減、農林水産業の持続的発展、自然環境の保全を図るため、県地域気候変動適応計画を策定 ・とべ動物園の温室効果ガス排出量削減のため、動物の糞尿、えさの残さ等を活用したバイオマス発電・熱利用に向けた導入可能性調査の実施 ・地球温暖化防止県民運動「クールチョイス大作戦」として、各家庭に応じた省エネ・省CO2対策を無料で提案する「うちエコ診断」の普及、自転車通勤者の拡大、温泉シェアの推進等		○	県地球温暖化防止県民運動推進会議の会員数	○	20位/55	39位/55	19位/55
				県の事務事業に伴う温室効果ガス排出量の基準年（平成25年度）に対する割合	○				
				県内の温室効果ガス排出量の基準年（平成25年度）に対する割合	○				
政策② 自然と共生する社会の実現	施策49 環境への負荷が少ない循環型社会の構築	・災害廃棄物処理体制の実効性向上を目指し、県において「災害廃棄物処理マニュアルモデル」を策定するとともに、災害廃棄物処理に係る図上訓練の実施 ・セミナー開催など、プラスチック資源循環に対する意識啓発 ・食品ロスの削減に向けた食べきり運動の実施 ・産業廃棄物適正処理指導員、環境パトロールカー、監視カメラ、収集運搬車両の検問等による不法投棄抑制 ・他の事業者等への普及を図るため、県の優良モデル（スゴeco）に認定されたりサイクル製品、事業所、店舗等のPR	○	○	一般廃棄物のリサイクル率	▲	31位/55	43位/55	38位/55
					優良リサイクル製品等認定数	○			
				産業廃棄物の不法投棄等不適正処理事案の改善率	○				
				産業廃棄物処理業者への立入検査における不適格件数	▲				
	施策50 良好な生活環境の保全	・豪雨災害により被災した水道施設の早期復旧の推進 ・水道施設の耐震化促進 ・工場・事業場の排水の監視指導 ・大規模廃棄物焼却施設等のダイオキシン類汚染状況調査 ・個人や市町が設置する合併処理浄化槽整備への助成	○		大気環境基準達成率	○	22位/55	5位/55	19位/55
				水質環境基準達成率	▲				
				法令等に基づく工場等立入調査における排出基準等適合率（ばい煙）	☆				
				法令等に基づく工場等立入調査における排出基準等適合率（排水）	○				
					高圧ガス等事故発生件数	▲			

**基本政策Ⅳ やさしい愛顔あふれる「えひめ」づくり**  
**【環境】 調和と循環により、かけがえのない環境を“守る”**

政策	施策	①主な取組み等 ※下線・ゴシック→豪雨復興関係 ※下線→新たな取組み・拡充	豪雨復興関係	新たな取組み・拡充	② 成果指標の状況		③県民ニーズ調査（順位）			
					指標名（※印はターゲット指標）	達成状況	重要度	満足度	優先度	
政策② 自然と共生する社会の実現	施策51 豊かな自然環境と生物多様性の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>石鎚山系におけるE-BIKEの活用検証事業として、モニターツアーの開催や、石鎚山ヒルクライムにE-BIKEの出走可能なクラスを創設</li> <li>四国4県で連携して、四国のみちの多言語対応ポータルサイトを整備</li> <li>「つなげ！生物多様性 高校生チャレンジシップ」の開催</li> <li>老朽化した自然公園等施設の維持修繕</li> </ul>		○	※自然公園、四国のみちの利用者数 ▲		23位/55	6位/55	38位/55	
				○	自然保護指導員・野生動植物保護推進員等の人数 ▲					
				○	鳥獣保護の違反件数 ○					
					生物多様性の認識度 ☆					
					絶滅のおそれのある野生生物の割合 ☆					
政策③ 環境にやさしい産業の育成	施策52 魅力ある里地・里山・里海づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>えひめG Tナビホームページのリニューアル（H31.3）</li> <li>農業者が行う農地・農業用水路等の保全管理活動など、農村環境保全の取組みを支援</li> <li>小学生を対象に、地域のため池や水路に生息する生き物を通じ「ふるさと」への愛着心を育むことを目的とした「生き物教室」を開催</li> </ul>		○	農地や農業用水などの保全活動に取り組む面積 ○		29位/55	9位/55	26位/55	
					○	棚田の保全整備地区数 ☆				
政策③ 環境にやさしい産業の育成	施策53 再生可能エネルギー等の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所をはじめとする公共施設等に新エネルギーを活用した自立分散型電源の導入を普及させるため、導入事例や支援策等を紹介するセミナー及び個別相談会開催</li> <li>「バイオマス教室」開催等、バイオマス活用への意識啓発</li> <li>市町が行う家庭用燃料電池、蓄電池、ネット・ゼロ・エネルギーハウス（ZEH）等の導入支援への補助、企業が実施する再生可能エネルギーへの導入可能性調査を支援</li> <li>畑寺発電所でH27.8から、志河川ダムでH28.2から、玉川ダムでH29.1から、大久保山ダムでH30.10から、小水力発電開始</li> <li>木質バイオマス供給に向けた低コスト化手法の検討及び民間企業の県産材用途開発支援</li> </ul>		○	新エネルギー導入実績（原油換算） ☆		35位/55	52位/55	19位/55	
					○	家庭用燃料電池の導入実績 ☆				
					○	家庭用蓄電池の導入実績 ☆				
					▲	バイオディーゼル燃料生産量 ▲				
					▲	木質ペレット年間生産量 ▲				
政策③ 環境にやさしい産業の育成	施策54 低炭素ビジネスの振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>えひめカーボン・オフセット推進協議会が取り組むカーボン・オフセットの普及拡大や、クレジットの販売促進等を支援</li> </ul>			J-クレジットの認証件数 ☆		55位/55	54位/55	51位/55	
政策③ 環境にやさしい産業の育成	施策55 恵み豊かな森林（もり）づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>R元年度より始まる「新たな森林管理システム」（市町が主体的に森林管理経営を実施）の推進に向けて、国からの森林環境譲与税を財源とする基金の創設と市町への支援</li> <li>森林環境税を財源に、県民や市町が提案する森林づくり事業を支援</li> <li>原木からCLT（直交集成材）の一貫生産を行う全国初の生産工場完成（H30.7～本格稼働）</li> <li>技術者の減少を補完するためのAIやICT等の最新技術を活用したモデル事業実施</li> </ul>		○	人工林における間伐実施面積【再掲】 ▲		47位/55	11位/55	51位/55	
					○	森との交流人口（森林環境税対象事業により森林（木材等含む）と交流した人数） ▲				
					○	県内の木材（加工前の丸太の状態）生産量【再掲】 ○				